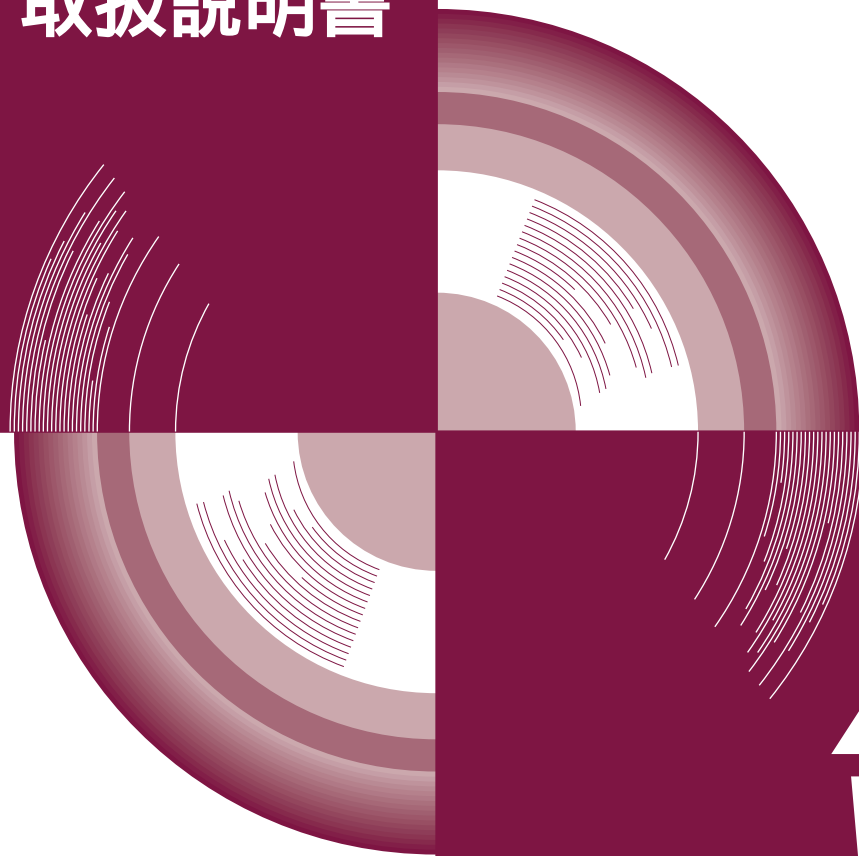


取扱説明書



3AC-28199-J0

Mate
V50/V50D

はじめに

ヤマハ車をお買いあげいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、お買いあげいただいた車の正しい取り扱い方法や安全な運転のしかた、日常点検、簡単な定期点検整備などについて説明してあります。

車は万一取り扱いを誤ると、重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。

車の正しい取り扱いをご理解いただくため、運転される前に必ず本書をお読みください。

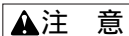
また、メンテナンスノート、セーフティガイド（バイクをより安全にお乗りいただくためのアドバイス）もあわせてお読みください。本書では、正しい取り扱いおよび点検整備に関する重要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。



安全にかかわる注意情報を示してあります。



取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。



取り扱いを誤った場合、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

要 点

正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。

車の受け取りの際には、お買いあげいただいた販売店から「取扱説明書」「メンテナンスノート」「セーフティガイド」を受け取り、以下の説明を必ずお受けください。

- お車の正しい取り扱い方法
- 日常点検、定期点検整備
- 保証内容および保証期間
- 保証書の発行（保証書裏面の記入・捺印）

車をゆずるときには、次の持ち主のために本書もお渡しください。

仕様の変更などにより、本書の図や内容が一部実車と異なることがありますのでご了承ください。

1. 安全運転のために	P2	ならし運転のしかた	P24	バックミラー	P40
あなた自身のために	P2	ブレーキの使いかた	P24	タイヤ	P40
歩行者と他の車のために	P6	5. 日常点検	P26	バッテリー	P41
環境・住民の方との調和のために	P7	日常点検の実施	P26	ヒューズ	P43
2. 名称と操作	P8	日常点検箇所 / 点検内容	P26	8. お車の手入れ	P44
各部の名称	P8	日常点検の方法	P27	洗車	P44
計器類の見かた	P10	6. 定期点検整備	P31	保管のしかた	P45
メインスイッチ	P12	定期点検整備の実施	P31	アフターケア用品について	P46
ハンドルロック	P13	定期点検整備の方法	P31	9. サービスデータ	P48
ハンドルスイッチの使いかた	P14	アンダーブラケットの		製品仕様	P48
フューエルコック	P15	取り付け状態の点検	P32	10. モデルラベル	巻末
チョークレバー	P16	ドライブチェーンの点検	P32		
ヘルメットホルダー	P16	エアクリーナーエレメントの			
書類入れ	P17	点検	P33		
サービスツール	P17	車体各部の給油脂状態の点検	P34		
フロントキャリア < V50D >	P18	バッテリーの点検	P34		
リヤキャリア	P18	ブレーキシューの摩耗点検	P34		
3. 燃料補給	P19	7. やさしい整備	P35		
ガソリンの給油	P19	やさしい整備	P35		
エンジンオイルの補給	P20	ブレーキの遊びの調整	P36		
4. 運転操作	P21	ブレーキランプスイッチ	P37		
エンジンのかけかた	P21	ミッションオイルの補給	P37		
走りかた	P22	エアクリーナーエレメントの			
ギヤチェンジのしかた	P23	清掃	P38		
シフトダウンのしかた	P23	ドライブチェーン	P39		

JAU01894

1. 安全運転のために	2
2. 名称と操作	8
3. 燃料補給	19
4. 運転操作	21
5. 日常点検	26
6. 定期点検整備	31
7. やさしい整備	35
8. お車の手入れ	44
9. サービスデータ	48
10. モデルラベル	巻末

安全運転のために

JAU01896

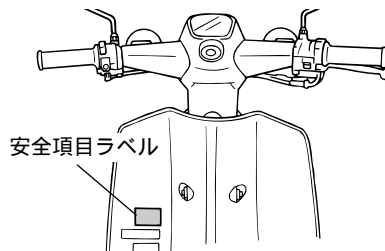
この章には、特に知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことなどの基本的なアドバイスを述べてあります。運転するときには、次のことを守って安全運転および上手な操作を心がけてください。

- 安全運転とは、交通ルールを守ることだけでなく、ほかの人々が安全に通行できるように配慮することです。

JAU01898

1.あなた自身のために

安全項目ラベルについて



運転に慣れてきますと、いろいろな注意を忘れがちになり、事故を起こすことがあります。

車に乗るときには、安全項目ラベルの注意事項をいつも守り、安全運転に心がけてください。

警告

- ・取扱説明書をよく読んで安全な運転をしましょう。
- ・ヘルメットを正しくかぶりましょう。
- ・マフラーは熱くなります。人が触れにくい場所に駐車する等の配慮をしましょう。
- ・ヘッドランプを昼間はロービーム点灯しましょう。
- ・違法改造はやめましょう。
- ・定められた点検整備をメンテナンスノートに従って励行しましょう。

3XC-2118K-10

安全運転は正しい服装から

- ヘルメットは必ず着用してください。
ヘルメットはSまたはSG、JISマークのある二輪車用を必ず着用してください。ヘルメットは正しくかぶり、必ずあごひもをしめます。頭にしっかりと合って、圧迫感のないものが最適です。
- グローブを必ず着用してください。
- ヘルメットにシールドを着用してください。着用できないときは、ゴーグルを使用してください。
- 運転する服装は、明るく目立つ色で動きやすく、体の露出が少ないものを着用してください。疲労を少なくし、万一の転倒時には身体を保護します。
ズボンのすそや袖口の広い服は、運転操作のじゃまになり、思わぬ事故の原因にもなりますので避けてください。
- 靴はかかとが低く、足にピッタリしたものを選んでください。



▲ 警 告

ヘルメットを正しくかぶっていないと、万一の事故の際、死亡または重傷に至る可能性が高くなります。
運転者は、必ずヘルメットをかぶり、正しい服装で乗車してください。

日常点検、定期点検整備を必ず実施してください。

事故や故障を防ぐため、法令で定められた1日1回ご使用前に行う日常点検と、法令で定められた6か月、12か月ごとに行う定期点検は必ず実施してください。

給油時は火気厳禁

ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。

風通しの悪い場所でエンジンを
始動しない

排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。
風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。

荷物はしっかり固定する



荷物を積むと、積まないときに比べて操縦安定性が変わります。
荷物はしっかりと固定し、積み過ぎないように注意してください。

両手はハンドル、両足はフット
レスト

運転するときは、両手でハンドルを握り、両足をフットレストにのせます。

乗車定員は1名

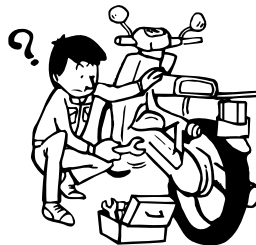
運転者以外に人を乗せることは道路交通法によって禁じられています。

急激なハンドル操作や片手運転は
しない



急激なハンドル操作や片手運転は、横すべりや転倒の原因となります。絶対にしないでください。

自己流のエンジン調整、部品の
取り外しはしない



エンジン調整はヤマハ販売店におまかせください。

自賠責保険に必ず加入

自賠責保険（共済）に加入することは法令で定められています。万一の事態に備えて必ず加入してください。
また、保険の期限切れにも注意してください。

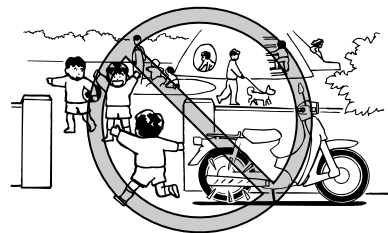
2. 歩行者と他の車のために

他の人への思いやり

- 交通ルールを守り、まわりの歩行者や車の動きに注意し、相手の立場について思いやりの気持ちをもって通行しましょう。
- 周囲の状況に注意して、安全なスピードで走行してください。
歩行者や自転車のそばを通るときは、安全な距離を保つか徐行してください。

駐車

- 盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、メインスイッチキーをお持ちください。また、Pロック、チェーンロックなどのサイクルロックも同時に使用することをおすすめします。
- 交通のじゃまにならない場所に駐車してください。
- 平坦な場所に駐車してください。
やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。
- 車から離れる前に、スタンドが確実にセットされているかを確認してください。



警告

- エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。触れるとヤケドをすることがありますので、注意してください。
また、物などが直接触れないようにしてください。
- 駐車は、通行する人がマフラーやエンジンなどに触れない場所にしてください。

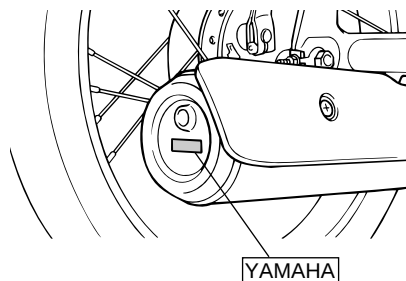
3.環境・住民の方との調和のために

住民の方への思いやり

自分の都合だけを考えて、沿道の方に不愉快な騒音などの迷惑をかけないでください。

特に深夜の住宅街や人通りの多い道路などで長時間のアイドリングや急発進などを行うと、迷惑になりますのでしないでください。

違法改造はしない



違法改造は法律により禁止されています。
改造は操縦安定性を悪くしたり、排気音を大きくして車の寿命を縮めたり、重大な事故や故障の原因となります。

また、改造すると車の保証が受けられません。

なお、ヤマハ純正部品のマフラーには "YAMAHA" マークが刻印されています。

環境への配慮

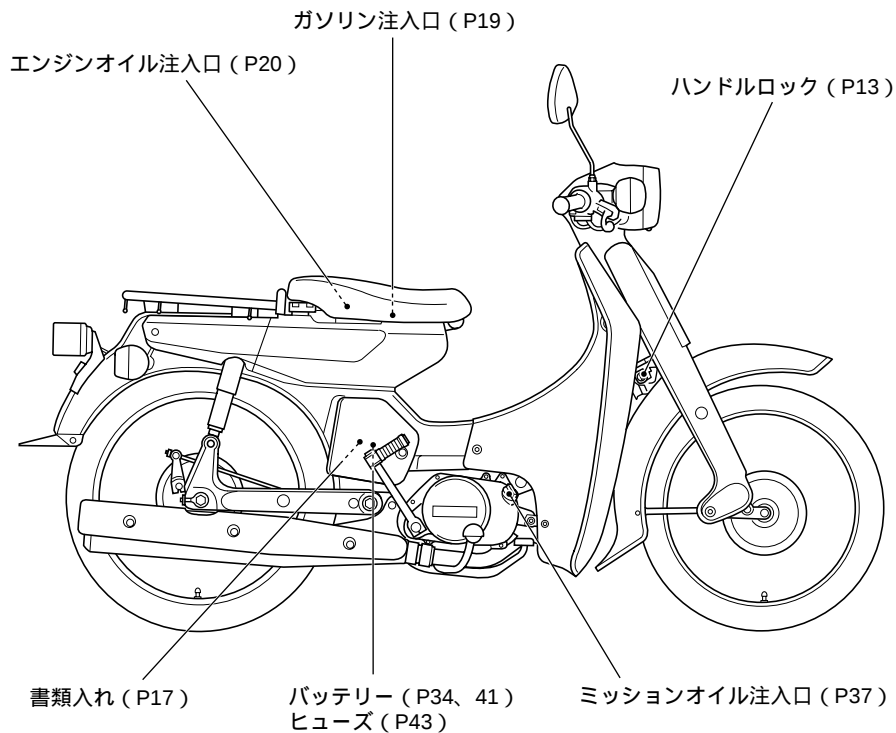
廃車をするときや、バッテリー、廃油などの廃棄処理をするときは、環境保護のためお買い上げのヤマハ販売店にご相談ください。

名称と操作

JAU01918

各部の名称

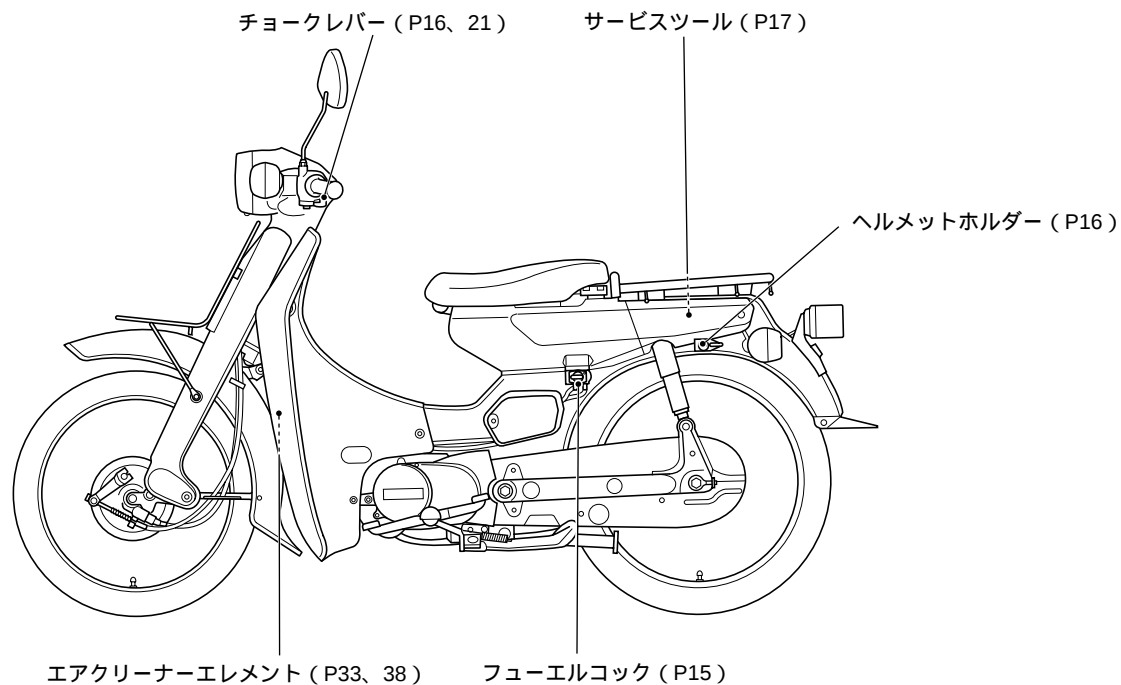
< イラストはV50 >



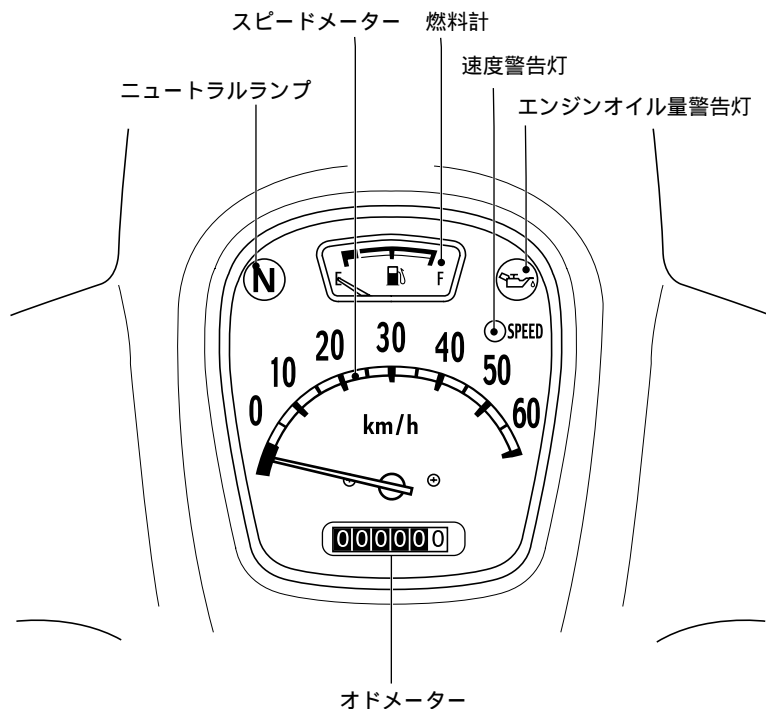
各部の名称を示してあります。() 内に参照ページがあるものは、そのページに詳しい説明があります。

(.....部は外からは見えない部分です。)

<イラストはV50D>



計器類の見かた



JAU01922

スピードメーター

車の速度を指針で示します。

JAU01924

オドメーター

走行した総距離を示します。

1ケタ目（白地に黒文字）が100m単位で、
2ケタ目がkm単位です。

オイル交換や定期点検整備の目安にもなります。

JAU01940

速度警告灯（SPEED）

車の速度が30km/hを超えると点滅し、運転者に注意をうながします。

JAU01941

ニュートラルランプ (N)

メインスイッチがONで、ギヤチェンジがニュートラルのときに点灯します。

JAU01948

エンジンオイル量警告灯 ()

オイルタンク内のオートループオイル量が規定以下になると点灯し、補給時期を知らせます。

要 点

警告灯の球切れや回路点検のため、メインスイッチをONにし、ギヤチェンジをニュートラルにすると点灯します。点灯しないときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

注 意

走行中にエンジンオイル量警告灯が点灯したら、早めにエンジンオイルを補給してください。点灯したまま走行すると、故障の原因となります。

JAU03242

燃料計

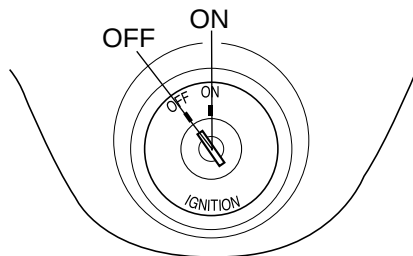
ガソリンの残量を示します。指針が“E”に近づいたら、早めに補給してください。

要 点

- 燃料計はメインスイッチがONのときだけに作動します。OFFのときは指針が“E”より下側に移動します。
- 残量の確認は、平坦な場所でメインスタンドを立て、メインスイッチをONにしてください。

メインスイッチ

メインスイッチはエンジンの始動と停止、ブレーキランプや方向指示灯などの電源の「入/切」を行います。



JAU02029

ON

- エンジンの始動ができます。
- エンジンを始動させるとヘッドライト、テールランプ、メーター灯が点灯します。
- キーは抜けません。

JAU02036

OFF

- エンジンを止めます。
エンジンは始動できません。
- キーの抜き差しができます。

JAU02041

警告

走行中にメインスイッチのキーをOFFの位置にすると、電気系統の作動が停止し、事故につながるおそれがあります。メインスイッチキーは必ず停車中に操作してください。

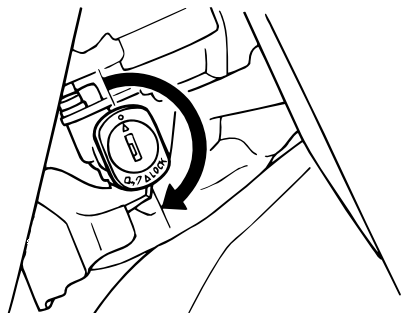
JAU02045

注意

- 盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、メインスイッチキーをお持ちください。
- メインスイッチをONのままにしたり、エンジン始動後アイドリング状態を長時間続けると、バッテリーあがりの原因となります。注意してください。

ハンドルロック

ハンドルロックは駐車時などの盗難予防用です。



ロックのしかた

1. ハンドルを左へいっぱいに切ります。
2. キーを差し込み、●から▲（ロック）の位置まで回します。

要 点

ロックしにくいときはハンドルを軽く左右に動かしながら、キーを回します。

3. ハンドルを軽く左右に動かして、ロックを確認します。
4. キーを抜きます。

警告

- 交通のじゃまにならない場所に駐車してください。
- サイドスタンドは車が止まってから出してください。
- 平坦な場所に駐車してください。
やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。
- サイドスタンドを使用して駐車するときは、ハンドルを左へ切ってください。
- エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。触れるとヤケドをすることがありますので、注意してください。
また、物などが直接触れないようにしてください。
- 駐車は、通行する人がマフラーやエンジンなどに触れない場所にしてください。

⚠ 注 意

盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。

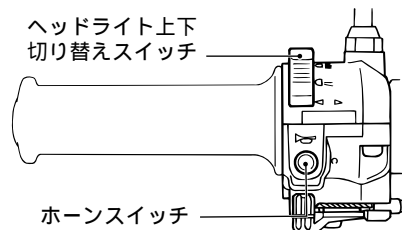
ロックの外しかた
かけかたと逆の要領で行います。

⚠ 警 告

走行前にハンドルを左右に切り、切れ角が左右均等であるかを確認します。

JAU02070

ハンドルのスイッチの使いかた



JAU02072

ヘッドライト上下切り替えスイッチ

ヘッドライトの配光を上向き、下向きに切り替えるスイッチです。

☞ (上向き) : 遠くを照らします。

☜ (下向き) : 近くを照らします。

要 点

先行車や対向車があるときは、ヘッドライトを下向き ☜ にしてください。

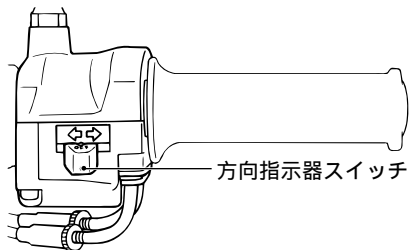
JAU02083

ホーンスイッチ (📢)

スイッチを押すとホーンが鳴ります。

要 点

必要なときにのみ使用してください。



JAU02081

方向指示器スイッチ (↷↶)

進路変更の合図に使用します。

メインスイッチONのときに使用できます。

操作は、進路変更する側にスイッチをスライドさせます。

消灯するときは、スイッチを押します。

↷: 右側の方向指示灯が点滅します。

↶: 左側の方向指示灯が点滅します。

要 点

方向指示器を使用すると“カチカチ”音がします。

⚠ 警 告

方向指示灯は自動的に消灯しません。使用後は必ず消灯してください。点滅したままにしておくと、他の方の迷惑になります。

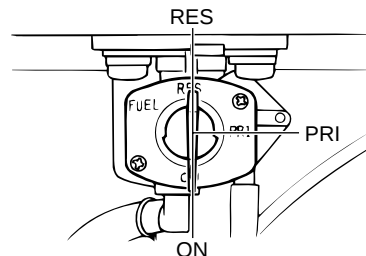
⚠ 注 意

電球を交換するときは、正規のワット数のものを使用してください。これ以外のものを使用すると、正常に作動しません。

JAU02106

フューエルコック

この車のフューエルコックは自動コックです。ONおよびRESの位置でエンジンが停止すると、自動的にガソリンの流れが止まります。



ON

始動および走行時のレバー位置です。

RES

予備燃料（予備容量約0.7L）のレバー位置です。

ONで走行中にガソリンがなくなったら、レバーをこの位置にします。予備燃料が使用できますが早めに給油してください。給油を終えたらレバーをONに戻してください。

PRI
RESの位置でガソリンがなくなり、給油するときにこの位置にします。(給油後の始動が容易になります。)
給油を終えたらレバーをONに戻してください。

要 点

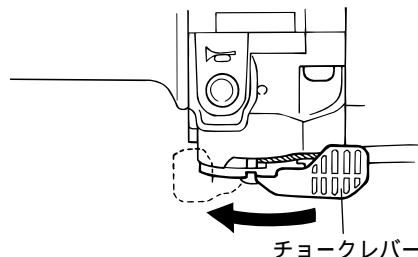
ONで走行中にガソリンがなくなったときは、約1分間レバーをPRIにしてからRESにしてください。始動が容易になります。

JAU02117

チョークレバー

エンジンが冷えているときは、チョークレバーを左へいっぱい回すと始動が容易になります。

エンジンが始動したら、20～30秒後にチョークレバーを半分ぐらい戻します。
エンジンが充分暖まったら、チョークレバーをいっぱいまで戻します。



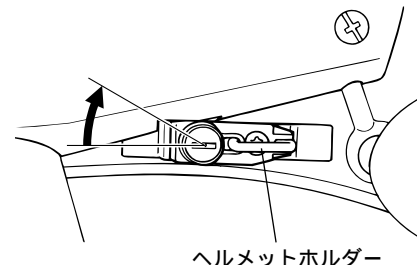
▲注意

走行するときは、必ずチョークレバーを戻してください。

JAU02119

ヘルメットホルダー

メインスイッチキーでロックを外し、ヘルメットのあごひもの金具部分を掛けてロックします。



▲警告

ヘルメットをヘルメットホルダーに掛けたまま走行しないでください。ヘルメットが運転を妨げ、思わぬ事故の原因になったり、車の部品に損傷を与えたり、またヘルメットにも損傷を与え保護機能を低下させます。

要 点

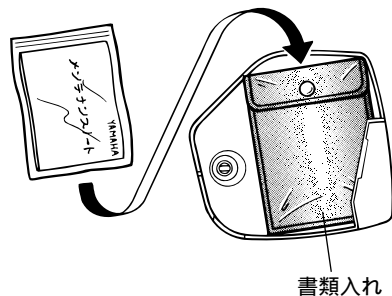
ヘルメットホルダーは、常にロックしておいてください。

JAU02200

書類入れ

右のサイドカバーの裏側に書類入れ（収納用ポーチ）があります。

保険証、メンテナンスノートは二つ折りにし、ビニール袋に入れてここに保管してください。

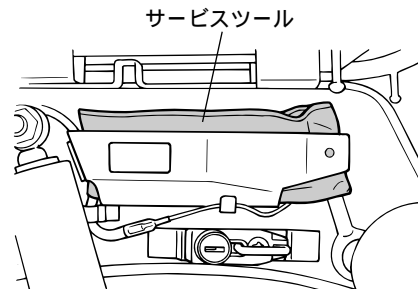


JAU02280

サービスツール

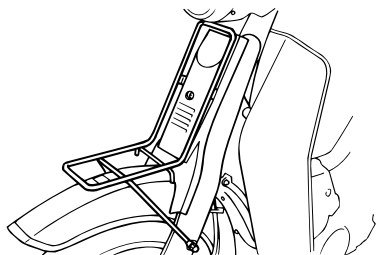
左のサイドカバーの中に格納してあります。

リヤキャリア下側にある左のサイドカバーの取付スクリューを外し、カバーを外してください。



フロントキャリア<V50D>

フロントキャリアに荷物を積むときは、ひもなどでしっかり固定してください。

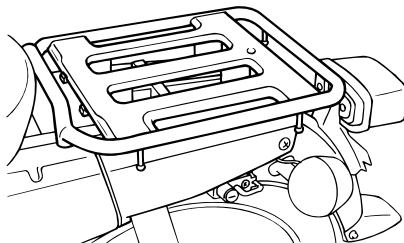


⚠ 警 告

- フロントキャリアに積める荷物は5kgまでです。
- 荷物を積みすぎると、荷くずれを起こしたりハンドルが振られたりして危険です。

リヤキャリア

リヤキャリアに荷物を積むときは、ひもなどでしっかり固定してください。

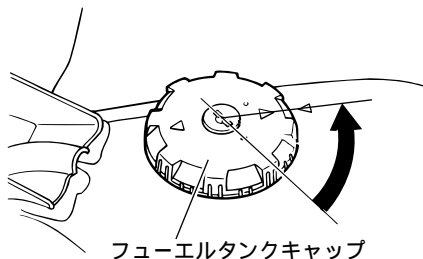


⚠ 警 告

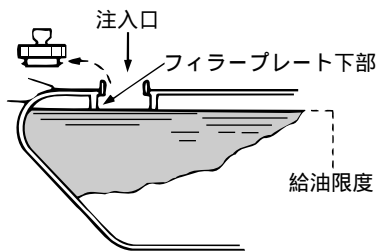
- リヤキャリアに積める荷物は25kgまでです。
- 荷物を積みすぎると、荷くずれを起こしたりハンドルが振られたりして危険です。

ガソリンの給油

1. シートを開けます。
2. メインスイッチキーを差し込み、反時計方向に回してフューエルタンクキャップのロックを外します。
3. フューエルタンクキャップを反時計方向に回して開けます。



4. ガソリンを給油します。
ガソリンは、注入口にあるフィラープレート下部より上に入れしないでください。



5. 給油後は、フューエルタンクキャップを時計方向に止まるまで確実に回します。
6. メインスイッチキーを時計方向に回し、フューエルタンクキャップをロックします。
7. メインスイッチキーを抜きます。
8. シートを閉じます。

要 点

メインスイッチキーを抜き取ると、フューエルタンクキャップを閉めることはできません。
また、フューエルタンクキャップを正しく閉めないと、キーを抜き取ることができません。

タンク容量：約4.8L（予備容量含）
使用燃料：無鉛レギュラーガソリン

⚠ 警 告

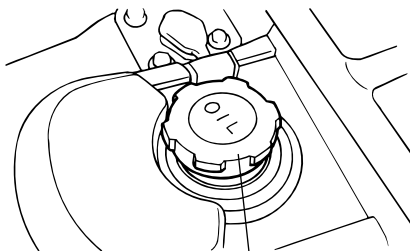
- ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。
- ガソリンをフィラープレート下部より上に入れしないでください。
走行中にガソリンがにじみ出ることがあり危険です。
給油限度を守って給油してください。
- フューエルタンクキャップは確実に閉めてください。

⚠ 注 意

- こぼれたガソリンは、布きれなどできれいにふき取ってください。
- タンクにゴミやチリなどの不純物が入らないように注意してください。

エンジンオイルの補給

1. シートを開けます。
2. オイルタンクキャップを外し、エンジンオイルを補給します。



オイルタンクキャップ

オイルタンク容量：約1.2L

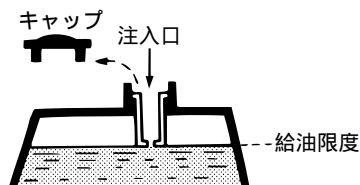
推奨オイル：

ヤマハオートループスーパービジネスオイル、ヤマハオートループスーパーオイルもしくはJASO2サイクルエンジンオイル規格FCグレード

▲注意

- 走行中にエンジンオイル量警告灯が点灯したら、早めにエンジンオイルを補給してください。
- エンジンオイルの補給時は、必ずエンジンを止めて、火気を近づけないでください。
- オイルの補給は、オイルタンクの口元からあふれさせないよう慎重に行ってください。
- オイルが不足したまま走行すると、エンジン故障の原因となりますので、必ずエンジンオイル量を点検してください。
- 銘柄やグレードの違うオイルを混入させたり、低品質オイルを使用しないでください。

- オイルタンクキャップは確実に取り付けてください。走行中にオイルがにじみ出ることがあります。
- オイルタンク付近には布きれなどを置かないでください。エンジンに悪影響を与えることがあります。



エンジンのかけかた

エンジンをかける前に

1. フューエルコックをON（あるいはRES）にします。
2. メインスイッチをONにします。
3. ギヤチェンジをニュートラルにします。（ニュートラルランプが点灯します。）

警告

- ギヤチェンジをニュートラルにしないと、キックしたときに飛び出しや転倒することがあります。必ずニュートラルを確認してエンジンを始動してください。

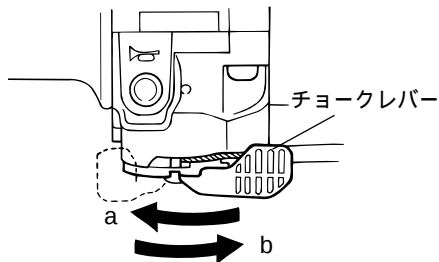
- 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。

風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。

JAU02397

エンジンが冷えているとき

1. チョークレバーをいっぱいa方向に回します。

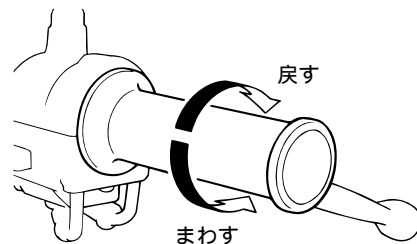


2. スロットルグリップを戻します。
3. 力強くキックします。
4. エンジンが始動したら、20～30秒後にチョークレバーを半分ぐらいb方向に戻して暖機運転を行います。
5. エンジンが充分暖まり、エンジンの回転が安定したらチョークレバーを元のb方向に戻します。

JAU02409

エンジンが暖まっているとき

1. スロットルグリップを手前に少し回します。
2. 力強くキックします。



3. エンジンが始動したらスロットルグリップを戻します。

JAU02427

4～5回キックしても始動しないとき

チョークレバーを元に戻し、スロットルグリップをいっぱいに開けると始動しやすくなります。

▲注意

エンジンが始動したら、スロットルグリップをすばやく戻してください。

JAU02432

エンジンの止めかた

メインスイッチキーをOFFにするとエンジンが止まります。

JAU02440

走りかた

1. メインスタンドまたはサイドスタンドを確実に格納します。

▲警告

- サイドスタンドを出したまま走行すると、スタンドが地面に接触して運転操作に支障をきたすことがあり、たいへん危険です。
発進時には必ず格納してください。
- 走行中にサイドスタンドを操作すると、思わぬ事故の原因となります。走行中はサイドスタンドを操作しないでください。

▲注意

サイドスタンドがスムーズに作動しないときは、取付部に注油してください。

2. スロットルグリップを戻し、シフトペダルでギヤチェンジを1速に入れ、静かに発進します。
3. 車のスピードに応じてギヤチェンジをします。

不要な急加減速はしないでください。燃料が節約でき、車の寿命も延ばします。
表はギヤチェンジの速度目安を示したものです。

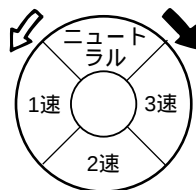
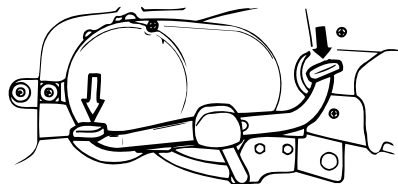
	速度目安
1速	0～18km/h
2速	13～30km/h
3速	20km/h以上

▲警告

走行中に異常を感じたときは、すぐにヤマハ販売店にて点検・整備を受けてください。

ギヤチェンジのしかた

この車はロータリー式の3段変速です。
ギヤチェンジはスロットルグリップを一度
戻し、シフトペダルで操作します



▲注 意

- シフトペダルは、足ごたえがあるまで確実に操作してください。
- 無理なギヤチェンジは、チェンジ機構の故障の原因になります。
- ギヤチェンジは、必ずスロットルグリップを一度戻してから行ってください。

要 点

ニュートラルのポジションは、メーター内のニュートラルランプの点灯で確認できます。

シフトダウンのしかた

追い越しや登坂時などにシフトダウン（低速ギヤにチェンジ）をすると、強力な加速力および登坂力が得られます。なお、高速で急激なシフトダウンを行うと、エンジンの回転が上がりすぎてエンジンやミッションに悪影響を与えます。

下表はシフトダウンの速度目安を示したものです。

	速度目安
3速→2速	30km/h以下
2速→1速	15km/h以下

▲警 告

急激なシフトダウンは走行安定性をそこない、転倒などの原因となりますのでしないでください。

▲注 意

ギヤチェンジは、必ずスロットルグリップを一度戻してから行ってください。スロットルグリップを戻さずに強引なギヤチェンジを行うと、エンジントラブルの原因となります。

JAU02462

ならし運転のしかた

初回1か月目（または1,000km走行まで）の点検までは、ならし運転をしてください。また、不要なからふかしや急加速、急減速はしないでください。

ならし運転を行うと車の寿命を延ばします。

下表は、ならし運転のギヤチェンジの速度目安を示したものです。

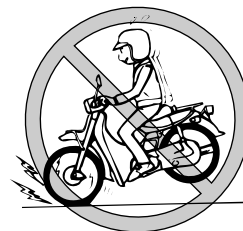
	速度目安
1速	0～15km/h
2速	13～25km/h
3速	20km/h以上

JAU02466

ブレーキの使いかた

- ブレーキは前後輪同時にかけてください。
- 不要な急ブレーキはかけないでください。

急ブレーキをかけると、横すべりや転倒の原因となるときがあります。



⚠ 警 告

雨の日や水たまりを走行した後は、ブレーキのききが悪くなることがあります。ききが悪いときは、安全な場所で前後の車に充分注意し、低速で走行しながらききが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させ、ブレーキの湿りをかわかしてください。

要 点

- 前輪または後輪ブレーキだけをを使うと、横すべりや転倒の原因となることがあります。必ず前後のブレーキを同時にかけてください。
 - 雨の日や路面がぬれているところ、雪道や凍った道路では、滑りやすく制動距離も長くなります。速度を落として、余裕をもった運転をしてください。
 - 長い下り坂などで連続してブレーキを使用すると、フェード現象の原因となります。このようなときは、エンジンブレーキと断続的なブレーキ操作で走行してください。
-

要 点

フェード現象

- ブレーキ部の温度が上昇すると、ブレーキのききが悪くなるか、まったくきかなくなる現象。

エンジンブレーキ

- 走行中、スロットルグリップを戻したときにかかる制動力で、低速ギヤほどエンジンブレーキがききます。
-

日常点検

JAU02377

日常点検の実施

車を安全で快適に使用いただくため、道路運送車両法で、1日1回の日常点検を行うことが義務づけられています。必ず実施してください。

▲警告

- 日常点検を怠ると重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。
- 異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。

要 点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。）

JAU02485

日常点検箇所 / 点検内容

詳しい点検の方法は、次頁以降の日常点検の方法および別冊「メンテナンスノート」の点検整備のしかた以降を参照してください。

点 検 箇 所	点 検 内 容
ブレーキ	ブレーキペダルの踏みしろおよびレバーの握りしろが適切で、ブレーキのききが充分であること。
タイヤ	● タイヤの空気圧が適当であること。 ● 亀裂、損傷がないこと。 ● 異常な摩耗がないこと。 溝の深さが充分あること。
エンジン	エンジンオイルの量が適当であること。 かかり具合が良好で、かつ、異音がないこと。 低速、加速の状態が適当であること。
灯火装置 および方向 指示灯	点灯または点滅具合が良好で、かつ、汚れや損傷がないこと。
運行において異常が認められた箇所	当該箇所に異常がないこと。

（注）

印の点検は車の走行距離、運行時の状態などから判断した適切な時期（長距離走行時や洗車、給油後など）に実施をしてください。

▲警告

点検するときには下記の内容に注意してください。

- 点検は平坦で足場のしっかりした場所を選んで行ってください。
- エンジン停止直後は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。直接触れたりしないでください。
ヤケドに注意してください。
- 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。
- 走行して点検するときには、交通状況に注意してください。

日常点検の方法

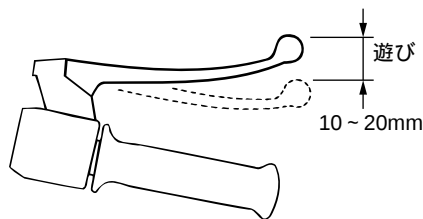
ブレーキレバーの握りしろ /
ブレーキペダルの踏みしろ、
およびブレーキのきき具合の点検

JAU02499

ブレーキの遊びの点検

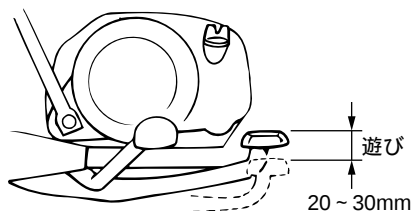
ブレーキレバーを軽く握り、抵抗を感じる
までのレバー先端部の遊びが規定の範囲に
あるかを点検します。

遊びは10～20mm



ブレーキペダルを軽く押し、抵抗を感じる
までの遊びが規定の範囲にあるかを点検し
ます。

遊びは20～30mm



JAU02502

ブレーキのきき具合の点検

乾いた路面を走行し、前輪ブレーキ、後輪
ブレーキを別々に作動させたときのきき具
合を点検します。

ブレーキのきき具合が悪いときは、ヤマハ
販売店で点検・整備を受けてください。



走行して点検するときは、交通状況に注意
し、低速で走行しながら行ってください。

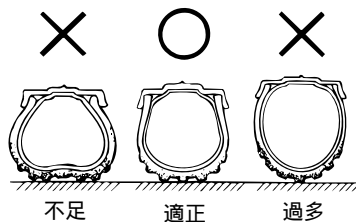
JAU02506

タイヤの空気圧

タイヤ接地部のたわみ状態により空気圧が適正かを点検します。

たわみ状態が異常なときは、タイヤゲージで点検し、正規の空気圧にしてください。

(タイヤ空気圧は40ページ参照)



JAU02507

タイヤの亀裂、損傷の点検

タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷、および釘、石、その他の異物が刺さっていないかを点検します。

JAU02509

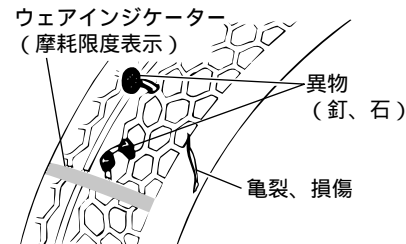
タイヤの異常な摩耗

タイヤの接地面が異常に摩耗していないかを点検します。

JAU03269

タイヤの溝の深さ

タイヤの溝の深さをウェアインジケーターで点検します。ウェアインジケーターがあらわれたら、タイヤを交換してください。タイヤに異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。



警告

タイヤに異常があると、操縦安定性に影響をおよぼしたりパンクの原因になります。異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

要 点

- ウェアインジケータはタイヤの溝が 0.8 mm になるとあらわれます。
- より安全な走行のため、溝の深さが 1.6 mm 以下になりましたらタイヤの交換をおすすめします。

JAU02524

エンジンオイル量の点検

エンジンオイル量警告灯が点灯したら、早めにエンジンオイルを補給してください。

JAU02540

エンジンのかかり具合、異音の点検

エンジンがすみやかに始動し、スムーズに回転するかを点検します。
アイドリング時に異音がないかを点検します。

JAU02541

低速、加速の状態の点検

暖機運転後に、アイドリングがスムーズに続くかを点検します。
スロットルグリップを徐々に回してエンジンを加速したとき、スロットルグリップもエンジンもスムーズに回るかを走行などして点検します。このとき、エンジンストップ（エンスト）やノッキングなどが起きたら、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU02546

灯火装置および方向指示灯の点検

1. エンジンを始動します。
2. ヘッドライト、テールランプ、ブレーキランプなどの灯火装置や方向指示灯の点灯・点滅具合が良好かを点検します。
3. レンズなどに汚れや損傷がないかを点検します。

点灯しないときはヒューズを点検（43ページを参照）し、異常がないときは電球を交換（48ページを参照）してください。

注 意

電球は、正規の規格と同じものと交換してください。これ以外のものを使用すると、球切れ、作動不良などの原因となります。

JAU02552

運行において異常が認められた箇所の点検

運行中に異常を認めた箇所について、運行に支障がないかを点検します。

定期点検整備

JAU03279

定期点検整備の実施

定期点検整備は車を使用する人が自己管理責任で定期的に行う点検整備で、法または法に準じて行うことが義務づけられています。二輪自動車または原動機付自転車については、6 か月点検と12 か月点検の2種類があります。

⚠ 警 告

- 定期点検整備を怠ると重大な事故、ケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。
- 異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。

要 点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。(モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。)

JAU02555

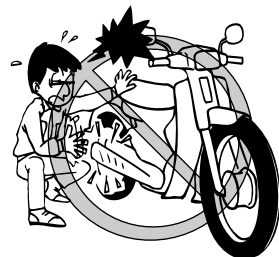
定期点検整備の方法

定期点検項目と基本的な点検内容は別冊の「メンテナンスノート」に記載してあります。ここでは、この車独自の内容を補足説明しています。

実際の点検作業にあたっては、別冊「メンテナンスノート」とあわせてご使用ください。

要 点

- 点検結果は、別冊「メンテナンスノート」の定期点検整備記録簿に記入してください。ご自身でできない項目については、ヤマハ販売店で点検を受け、記録してください。
- 点検の記録は廃車されるまで保存してください。
- メーカー指定項目の点検結果は、定期点検整備記録簿の「その他」の欄に記録してください。



⚠ 警 告

点検するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

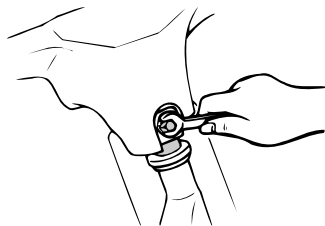
- 点検は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。
- エンジン停止直後の点検は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。
- 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。

- 走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。
- 異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。

JAU02557

アンダーブラケットの取り付け状態の点検（ステアリングシステム）

アンダーブラケットの締付ボルトまたは締付ナットに、ゆるみがないかを工具で点検します。



締付ボルトまたは締付ナットにゆるみがあるときは、ヤマハ販売店で規定トルクでの締め付けを依頼してください。

JAU02564

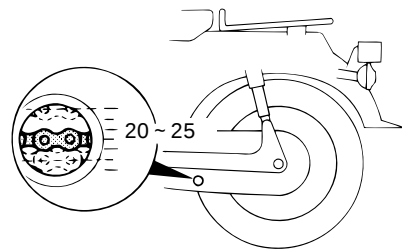
ドライブチェーンの点検

メインスタンドを立て、点検窓からチェーンを手で上下に動かし、たるみ量が規定の範囲にあるかをスケールあるいはチェーンケースの目盛などで点検します。

（チェーンケースの1目盛は5mmです。）

また、リヤホイールを浮かし、タイヤを手でゆっくり回しながらチェーンが滑らかに回転するか、給油は充分かを点検します。

（ドライブチェーンの調整は、39ページ参照）



エアクリーナーエレメントの点検

エレメントを取り出し、汚れによる詰まりなどを点検します。
ほこりなどが著しく多い場所を走行したときは、定期点検期間より早めに点検・清掃を行ってください。

JAU02611

エアクリーナーエレメントの取り外し

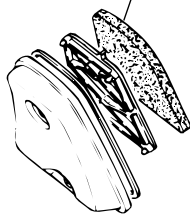
1. エアクリーナーケースキャップを外します。



エアクリーナーケースキャップ

2. エアクリーナーエレメントを取り外します。

エアクリーナーエレメント



JAU02630

エアクリーナーエレメントの取り付け

取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。
(エレメントの清掃方法は、38ページ参照)

車体各部の給油脂状態の点検

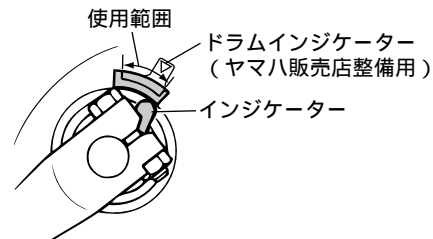
車体各部の給油脂状態が充分であることを点検します。
異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

バッテリーの点検

この車のバッテリーは密閉式です。
バッテリー液の補充、点検は不要です。
バッテリーに異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

ブレーキシューの摩耗点検

ブレーキシューの摩耗の状態を点検します。
ブレーキレバーをいっぱいに握ったとき、またはブレーキペダルをいっぱいに踏み込んだとき、インジケーターがシュープレートの使用範囲を外れるとブレーキシューの使用限度です。
ヤマハ販売店で交換・整備を受けてください。



警告

ブレーキシューの交換時には、ブレーキシューのテンションスプリングも同時に交換してください。

やさしい整備

点検をして車に異常が認められたときには、調整、清掃、交換などの整備が必要です。ここでは、通常行われることが多い簡単な整備方法を説明しています。

警告

安全のため、ご自身の知識、技量にあわせて範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店にご依頼ください。

点検・整備するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

- 点検・整備は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。
- エンジン停止直後の点検は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。
- 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。
- 走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。

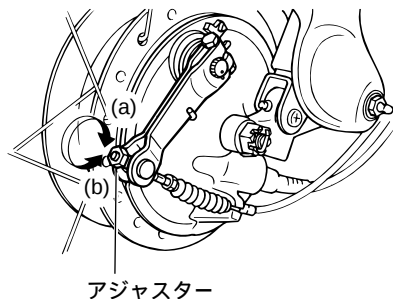
要 点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。）

ブレーキの遊びの調整

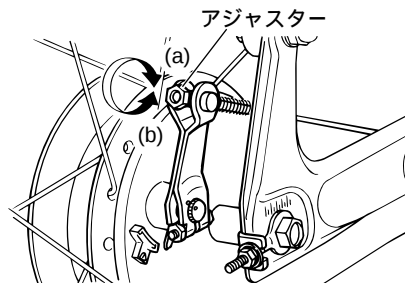
<前輪ブレーキ>

ブレーキレバー先端部の遊びが10～20mm
になるように、アジャスターで調整します。

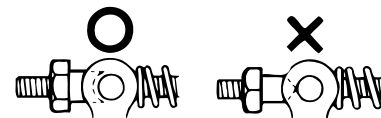


<後輪ブレーキ>

ブレーキペダル先端部の遊びが20～30mm
になるように、アジャスターで調整します。



- 1: 時計回り (a) に回すと、遊びが少なくなります。
- 2: 反時計回り (b) に回すと、遊びが多くなります。



要 点

アジャスターは、必ずピンとかみ合わせてください。

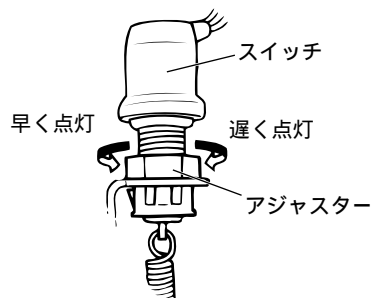
▲注 意

ブレーキ調整後は、必ずブレーキランプの点灯と、そのタイミングを確認してください。

ブレーキランプスイッチ

ブレーキがきき始める直前にブレーキランプが点灯するか点検します。

リヤブレーキランプスイッチの調整は、スイッチを指で押さえ、アジャスターを回して行います。



▲注意

リヤブレーキランプスイッチを調整するときは、スイッチ本体を回さないでください。スイッチ本体を回すと、リード線を傷付けます。

フロントブレーキをかけたときもブレーキランプが点灯するか点検します。

異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

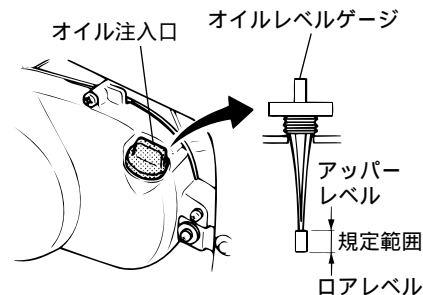
ミッションオイルの補給

1. 平坦な場所でメインスタンドを立て、エンジンを2～3分間アイドリング運転します。

要 点

走行直後でエンジンを十分に暖機してあれば、アイドリング運転は不要です。

2. エンジンを止めて2～3分後、車を垂直にしてミッションオイル量を点検します。
3. オイルレベルゲージでオイル量を確認し、規定量以下のときはオイル注入口から補給します。



推奨オイル：ヤマハギヤオイル

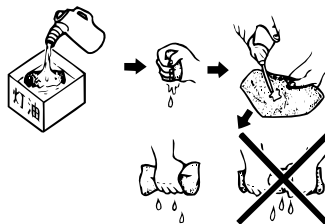
⚠ 警 告

- 走行後やエンジン暖機運転後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。
ヤケドに注意してください。
- 油脂類の廃液は、法令（公害防止条例）で適切な処理を行うことが義務づけられています。ヤマハ販売店にご相談ください。

ミッションオイル量
交換時：650cm³(c.c.)
O/H時：700cm³(c.c.)

エアクリーナーエレメントの清掃

1. エアクリーナーエレメントを取り外します。（33ページ参照）
2. エアクリーナーエレメントをきれいな灯油で洗浄し、ME-Rフィルターオイルに浸してから布切れなどで包み、しぼります。
3. エレメントをエアクリーナーケースに取り付けます。



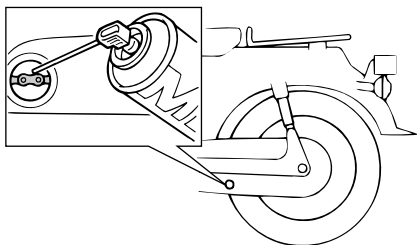
⚠ 注 意

- ガソリンや、有機性の揮発油（酸性、アルカリ性共に）で洗浄しないでください。
- 破れなどのあるものは交換してください。
- エアクリーナーエレメントの取り付けが悪いと、ゴミやホコリがエンジン内部に入り、摩耗や出力低下を起こして耐久性に影響を与えます。確実に取り付けてください。
- 洗車時にエアクリーナーケースに水を入れないでください。内部に水が入ると、始動不良などの原因になります。
- 著しくほこりなどの多い場所を走行したときは、定期点検期間より早めに点検、清掃を行ってください。

ドライブチェーン

給油

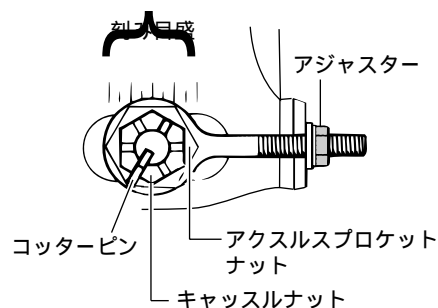
1. リヤホイールを浮かし、ホイールを手でゆっくり回しながらチェーンに付着した泥や汚れを、柔らかいブラシなどで落とします。その後、ヤマハME-2チェーンクリーナーで洗浄します。
2. チェーンを乾燥させた後、リヤホイールを手でゆっくり回しながら、チェーンにME-1チェーンオイルを給油します。



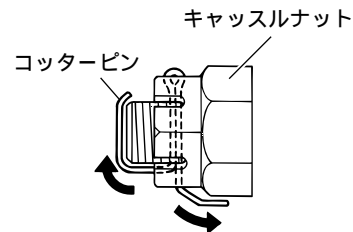
JAU02742

チェーンの張り調整

1. コッターピンを外し、キャスルナット、アクスルスプロケットナットをゆるめます。
2. アジャスターで左右均等に締め込みます。(刻み目盛りを左右同位置にします。)
3. 張り具合が規定値になるように調整します。(32ページ参照)
4. 調整後、アクスルスプロケットナットおよびキャスルナットを確実に締め付けます。



5. コッターピンを取り付け、足をボルトとナットに添わせて曲げます。

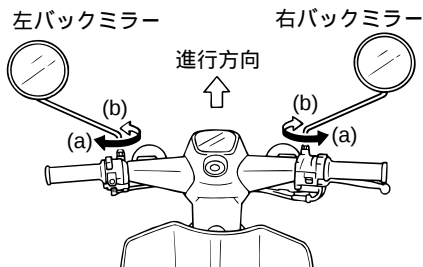


警告

- 取り付けるコッターピンは新品を使用してください。
- 調整後、ブレーキ調整を行ってください。

バックミラー

バックミラーの取り付け
および取り外しかた



- 右バックミラーは左ネジです。
左：反時計回り (a) に回すと締まります。
右：時計回り (b) に回すとゆるみます。
- 左バックミラーは右ネジです。
右：時計回り (a) に回すと締まります。
左：反時計回り (b) に回すとゆるみます。

タイヤ

空気圧

空気圧はタイヤの冷えているときに測定してください。

		前 輪	後 輪
タイヤ空気圧	乗車時	150kPa (1.50kg / cm ²)	200kPa (2.00kg / cm ²)
	積載時	150kPa (1.50kg / cm ²)	225kPa (2.25kg / cm ²)
タイヤサイズ		2.25-17 33L	2.50-17 38L

溝の深さ

安定したコーナリングや操縦性などを確保して安全な走行を行うため、タイヤの溝には充分注意してください。一般的に原付のタイヤは前輪、後輪とも溝の深さが1.6mm以下になりましたら交換をおすすめします。

警告

異なった種類のタイヤや指定サイズ以外のタイヤを使用することは、車の安全走行に悪影響がありますので使用しないでください。

バッテリー

バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、バッテリーを取り外して清掃します。

⚠ 警 告

バッテリーは引火性ガス（水素ガス）を発生しますので、取り扱いを誤ると爆発し、ケガをすることがあります。次の点を必ず守ってください。

- 火気厳禁です。ショートやスパークさせたり、タバコなどの火気を近づけないでください。爆発のおそれがあります。
- 補充電は風通しのよいところで行ってください。
- ガソリン、油、有機溶剤などを付着させないでください。電そう割れの原因となることがあります。
- 落下などの強い衝撃を加えないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。皮膚、目、衣服などに付着すると、重大な傷害を受けることがあります。
- 子供の手の届くところに置かないでください。

応急手当

- 万一、バッテリー液が皮膚、衣服などについたときは、すぐに多量の水で洗い流してください。
- 目に入ったときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

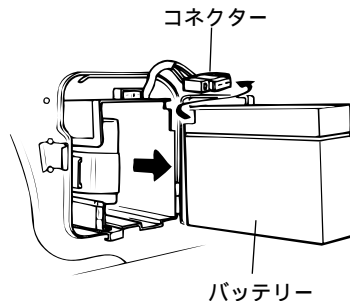
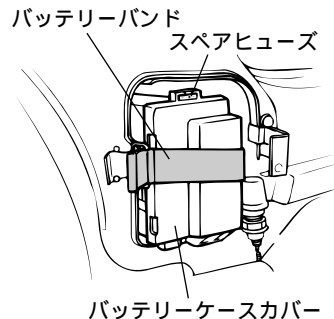
⚠ 注 意

このバッテリーは密閉式の12Vです。

- このバッテリーは液入り充電済です。液量点検および補水は必要ありません。
- 補充電には、密閉式バッテリー専用充電器を使用してください。くわしくはヤマハ販売店にご相談ください。
- 長期間ご使用にならないときは、6 か月ごとに補充電してください。
- バッテリーを交換するときは、必ず同型式のバッテリーを使用してください。

バッテリーの取り外し

1. 右のサイドカバーを取り外します。
2. バッテリーバンドを外し、バッテリーケースカバーを開けます。
3. バッテリーケースからバッテリーを引き出します。
4. コネクターを抜き、バッテリーを取り外します。

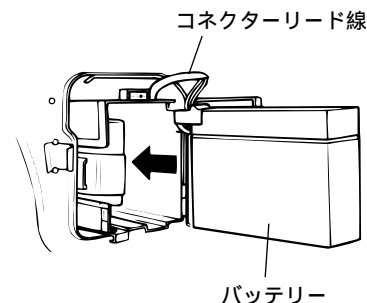


要 点

バッテリーからコネクターを抜くときは、コネクターの中央を押さえてください。

バッテリーの取り付け

取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。



要 点

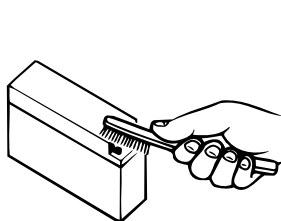
バッテリーを格納するときは、コネクターリード線をバッテリーと本体の間にはさみこまないようにしてください。

ヒューズ

JAU02809

ターミナル部の清掃

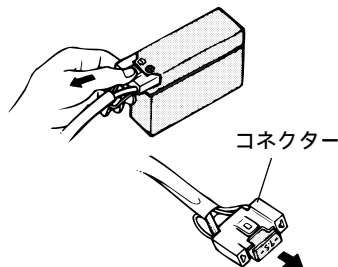
バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、やわらかいブラシなどで清掃します。また、白い粉がついているときは、ぬるま湯を注いでよくふき取ります。



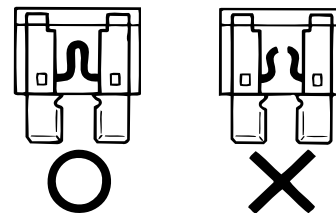
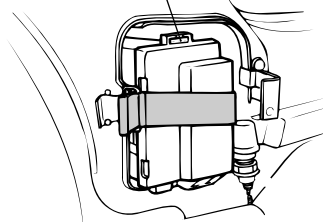
ヒューズはバッテリーのコネクターにセットされています。

規定ヒューズ：10A

ヒューズが切れたときは、原因を調べてからスペアと交換してください。



スペアヒューズ



▲注 意

- 交換するヒューズは、規格外のものを使用しないでください。
- 指定容量を超えるヒューズを使用すると、配線の過熱や焼損の原因になります。
- 電装品類（ライト、計器など）を取り付けるときは、車種ごとに決められている「ヤマハ純正部品」を使用してください。それ以外のものを使用すると、ヒューズが切れたり、バッテリーあがりを起こすことがあります。
- 洗車時ヒューズボックスのまわりに水を強く吹き付けしないでください。漏電や短絡（ショート）の原因になります。

お車の手入れ

JAU02854

洗 車

いつまでも車を長持ちさせるために、お手入れをしてください。

すみずみまで掃除すれば、普段気付かない異常箇所や摩耗が発見でき、故障の予防にもなります。



雨天走行後など、車が汚れたときは早めに洗車してください。車をサビやキズから守ります。

- 中性洗剤を使用して十分に水洗いします。
- 柔らかい布で、車に付着した水分をよくふきとります。
- スチーム洗車や水道ホースなどで、車に直接圧力をかける洗車をしないでください。キズの原因になります。
- 洗車後、必要に応じて各部にグリースなどを注油してください。

⚠ 警 告

- 洗車はエンジンが冷えているときにしてください。
- 洗車後、ブレーキのききが悪くなることがあります。ききが悪いときは、前後の車に充分注意しながら低速で走行し、ききが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させて、ブレーキの湿りをかわかしてください。

⚠ 注 意

- エアクリナーや電装品などに水が入らないように注意してください。故障の原因になります。
- マフラー内部に水がたまると、始動不良やサビの原因になることがあります。洗車時はビニール袋をかけるなどして、内部に水が入らないようにしてください。
- コンパウンドの入ったワックスは、プラスチック部分を傷つけますので使用しないでください。

要 点

サイドカバー付近に水を強くかけないでください。内部に水が入り、書類が濡れることがあります。

保管のしかた

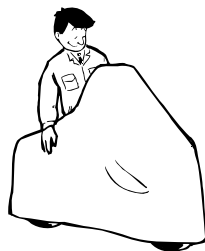
車はできるだけ敷地内に保管し、屋外に駐車するときはボディーカバーをかけてください。

なお、ボディーカバーはマフラーが冷えてからかけてください。

▲注 意

長期間お乗りにならないときは、以下のことを守ってください。

1. 保管する前にワックスがけをしてください。サビを防ぐ効果があります。
2. 6 か月ごとにバッテリーの補充電をしてください。
3. 長期保管後の走行前には、バッテリーの充電、および各部の点検をしてください。



アフターケア用品について

大切な車の寿命は、使用するオイルの品質により大きく左右されます。ヤマハの車には、ヤマハ純正用品をご使用ください。

A) オートループスーパーオイル

ヤマハの2サイクルエンジンにはヤマハオートループスーパーオイルをご使用ください。

オートループスーパーオイルはヤマハの2サイクルエンジンのために開発されたエンジンオイルです。

B) オートループスーパービジネスオイル

燃焼性に優れた高純度化学合成油に、走行・停止の多い業務に合わせた添加剤を配合したオイルです。不完全燃焼によるカーボンの発生を抑えますので、マフラーの詰まりを大幅に低減します。

C) ギヤオイル

極圧性、酸化安定性に優れ、油膜強度が高いギヤオイルです。アワ立ちもきわめて少ないため、ベアリングの腐食や摩耗を防ぎます。

D) ユニコンカークリーム(ワックス)

塗装面の汚れを簡単にとり、手間をかけずに美しい光沢が得られます。また、どんな塗装にも使用できる伸びのよいワックスです。

E) ME-1 (防錆潤滑剤)

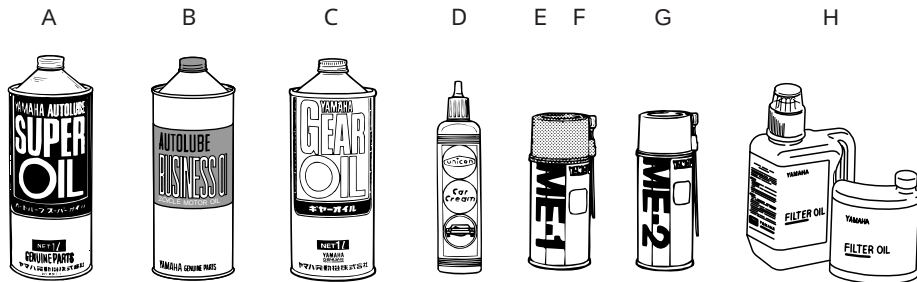
防錆、潤滑、防湿、浸透性に優れた金属保護液です。

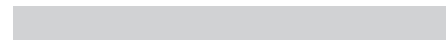
F) ME-1チェーンオイル

ドライブチェーンの摩耗や、騒音の防止に効果があるチェーンオイルです。

G) ME-2チェーンクリーナー

チェーンに付着したグリースやオイルなどの油汚れを手軽に素早くクリーニングします。





H) ME-Rフィルターオイル

ヤマハコンペティションモデル専用に開発したフィルターオイルです。火山灰、サンド、赤土、泥ねい、泥水など、全日本MXラウンド全ての状況を考慮して開発・テストしてありますので、車は常に優れた性能を発揮できます。

サービスデータ

製品仕様

機 種 名 称	メイト V50<D>	原 動 機 種 類	2サイクル、空冷、単気筒		タイヤサイズ	前	2.25-17 33L (チューブ有)
車 名 ・ 型 式	ヤマハ BB-UA04J	総 排 気 量	49 cm ³			後	2.50-17 38L (チューブ有)
全 長	1845 mm	内 径 × 行 程	40.0 × 39.7mm		フューエルタンク容量		4.8L / 予備容量約 0.7L
全 幅	665 mm	圧 縮 比	6.4 : 1		ミッションオイル容量	0.65L(交換時)	
全 高	1030 mm	最 高 出 力	3.5kW(4.7PS)/6000r/min			0.7L (オーバーホール時)	
軸 間 距 離	1175 mm	最 大 ト ル ク	5.9Nm(0.6kg・m)/5000 r/min		エアクリーナー形式		湿式ウレタンフォーム
最 低 地 上 高	130 mm	変 速 操 作 方 式	左足動ロータリー式		フ レ ー ム 形 式		プレスバックボーン
乗 車 定 員	1名	1 次 減 速 比	68/19	3.578	バッテリー容量		12V2.5Ah
車 両 重 量	86kg	1速	39/12	3.250	始 動 方 法		キック式
最 小 回 転 半 径	1800 mm	2速	29/16	1.812	点 火 方 式		C.D.I
定 地 燃 費	94km/L (30km/h)	3速	24/20	1.200	点 火 プ ラ グ	BR6HS,BR7HS	
		2 次 減 速 比	41/12	3.416		W22FSR,W20FSR	

電 球				
ヘ ッ ド ラ イ ト	12V40/40W (ハロゲン)	パイロットランプ	ニュートラル	12V1.7W
ブレーキ/テールランプ	12V21/5W		エンジンオイル警告	12V1.7W
方 向 指 示 灯	12V10W × 4		速度警告	LED
メ ー タ ー 灯	12V1.7W	ヒ ュ ー ズ	10A	

定地燃費は定められた試験条件のもとでの値です。走行時の気象、道路、車両、整備などの諸条件によって異なります。

サービスマニュアル（別売）の紹介

サービスマニュアルには、点検・調整や分解・組立の方法を写真やイラストを用いて説明してあります。車の概要や構造を理解するためにご利用ください。

サービスマニュアルのご注文は、ヤマハ販売店で受けております。部品番号をお知らせください。

メイト（V50/V50D/V50N）サービスマニュアル 部品番号

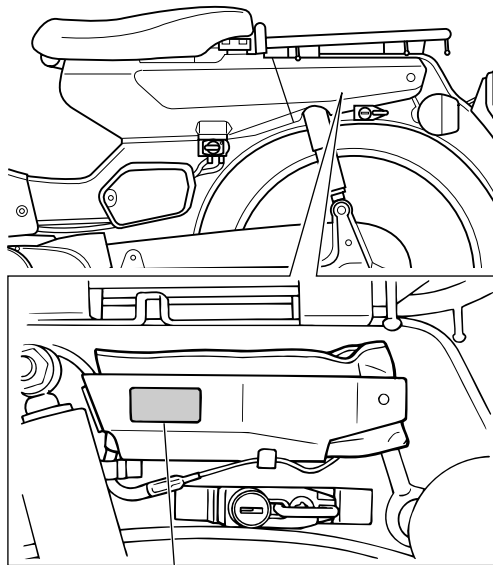
基本版： 4AV-28197-00

追補版： 4AV-28197-05

追補版は、マイナーチェンジなどで機構に変更があったときに、その変更部分のみを説明したサービスマニュアルです。基本版とあわせてご使用ください。

モデルラベル

モデルラベルは、あなたの車を正確に特定するための情報をコード化して記載しています。パーツオーダー、アフターサービスなどのご相談に対して的確な判断・処理をするために、車名およびモデルラベルの内容を正確にご連絡ください。モデルラベルは左サイドカバーを外すと貼付してあります。



モデルラベル

あなたの車の情報を記入し、控えにしてください。

車 名 は	メイト V50 / V50D
モデルラベル	製品仕様を示しています。 ○ カラーリングを示しています。 ●

こんなときは、このページをご覧ください。

- エンジンが始動しないときは.....P21
- 走行中にエンジンオイル量警告灯が点灯したときは.....P20
- 走行中にガソリンがなくなったときは.....P19
- ランプ類が点灯しないときは（ヒューズ切れ）.....P43
- ランプ類が点灯しないときは（電球切れ）.....P48
- ブレーキのきき具合に異常があるときは.....P36

●こまったときの連絡先

お問い合わせ、ご相談は下記お客様相談室をお願いします。

ヤマハ発動機株式会社 お客様相談室

フリーダイヤル ☎ 0120-090819

所在地 〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

・受付時間 9：00～17：00

・土曜、日曜、祝日を除く

最寄りのお客様相談窓口については、メンテナンスノートの巻末をご覧ください。

3AC-28199-J0



ヤマハ発動機株式会社
〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

あなたの街のあなたのお店

V50/V50D取扱説明書

000200

再生紙を使用しています